

令和 3 年 度

当 初 予 算 の 概 要
(抜 粋)



ありがとう知立!
これからも知立!

知 立 市

《予算の規模》

総額	378億4,210万円	(前年度比 △14億7,580万円 3.8%減)
▶ 一般会計	231億4,000万円	(前年度比 △14億6,000万円 5.9%減)
▶ 特別会計	97億7,170万円	(前年度比 2億810万円 2.2%増)
▶ 企業会計	49億3,040万円	(前年度比 △2億2,390万円 4.3%減)

☆一般会計

《歳入の概要》

● 市 税	107億4,704万5千円	(前年度比 △16億5,402万5千円 13.3%減)
・ 個人市民税	44億3,481万1千円	(前年度比 △8億6,354万3千円 16.3%減)
・ 法人市民税	3億3,825万1千円	(前年度比 △3億7,800万1千円 52.8%減)
・ 固定資産税	44億3,809万8千円	(前年度比 △3億6,336万7千円 7.6%減)
● ふるさと応援寄附金	6,000万円	(前年度比 0円 増減なし)
● 財政調整基金繰入金	9億7,923万7千円	(前年度比 △2億6,331万6千円 21.2%減) (当初予算編成後残高見込 5億141万6千円)
● 市 債	19億7,320万円	(前年度比 4億5,420万円 29.9%増) (令和2年度末残高見込 174億1,978万3千円)

主な市債

・ 保育園園舎改修事業	1,730万円	・ 幹線市道路面緊急対策事業	5,800万円
・ 長田排水路改修事業	5,770万円	・ 前田排水路改修事業	900万円
・ 知立連続立体交差事業	7億6,000万円	・ 知立駅周辺土地区画整理事業	1億2,290万円
・ 知立環状線整備事業	1,310万円	・ 八橋東西線整備事業	5,370万円
・ 知立小学校校舎長寿命化改良事業	1億1,900万円	・ 臨時財政対策債	7億3,500万円

《歳出の概要》

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

1 耐震改修促進事業

【拡充】 9,788 千円（建築課）

発生の可能性が高いと言われている大規模な地震に対し、市民の生命や財産を守るため、知立市耐震改修促進計画（2021－2030）に基づき市民の防災に対する意識を向上させることにより、建築物の耐震化促進を図ります。令和3年度から、旧基準住宅等を所有する高齢者世帯が耐震改修促進のため耐震化促進工事等を行い多世代居住した場合に費用の一部を補助します。

2 災害時受援計画策定事業

【臨時】 4,721 千円（安心安全課）

最低限の行政サービスを維持しながら、迅速に災害対応業務を開始するとともに、災害時の応援を可及的速やかに利活用する方策を定めることで、応援団体の力を借りて早期に通常業務を復旧させることを目的とした計画を策定します。

3 自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業

【新規】 1,401 千円（安心安全課）

県との協調補助により、児童及び生徒等並びに高齢者で自転車を利用する人がヘルメットを購入する時の費用を一部補助することにより、ヘルメットの着用を促進し、自転車利用時における交通事故による頭部損傷の軽減を図り、人的被害の重大化を防止します。

4 街頭防犯カメラ設置事業

【新規】 1,008 千円（安心安全課）

知立駅周辺等の街頭の電柱等に、5台の防犯カメラを設置します。また、「防犯カメラ作動中」の看板を合わせて設置し、犯罪抑止及び犯罪捜査に役立てます。

5 地域生活支援拠点等整備事業

【新規】 2,746 千円（福祉課）

障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、様々な支援を切れ目なく提供できる体制を構築し、障害福祉サービス事業所等と連携しながら障がい者のニーズとサービス等をつなぐコーディネート機能を担う中心的存在となって、支援体制の充実・強化を図ります。

6 福祉医療助成事業

【拡充】 653,517 千円（国保医療課）

医療機関の窓口等での自己負担分の医療費を助成することで、子ども、母子・父子家庭、身体や精神に障がいのある人や、高齢のひとり暮らしの人などが安心して医療を受けられるようにするものです。令和3年度から、子ども医療助成事業について、18歳年度末までの入院費用についても対象とします。

7 保健事業と介護予防の一体的事業

【新規】 2,830 千円（国保医療課）

介護予防事業・国保保健事業との連携体制を構築し、高齢者への切れ目のない総合的な支援を行い、後期高齢者に対する保健事業を充実させるとともに、健康づくりと介護予防の視点を合わせて一体的に実施します。

人々が集う交流のまちづくり

1 （仮称）知立蔵福寺地区土地区画整理事業

16,216 千円（まちづくり課）

良質な住宅地を供給し、人口増加を図るため、市街化区域編入を伴う土地区画整理事業を行います。

2 幹線市道路面緊急補修事業 96,985 千円（土木課）

1・2級幹線市道の舗装修繕を実施することで、自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図ります。

3 機織池整備事業 【臨時】 18,250 千円（財務課）

令和元年度の整備工事設計に基づき、造成工事を行います。普通財産（機織池）の今後のあり方を明確にすることで、普通財産の有効利用を図ります。

4 八橋東西線整備事業 124,541 千円（都市計画課）

5 花園里線整備事業 35,593 千円（都市計画課）

6 知立環状線整備事業 35,168 千円（都市計画課）

7 知立駅周辺土地区画整理事業 624,615 千円（都市開発課）

8 知立連続立体交差事業 950,000 千円（都市開発課）

9 西新地地区土地利用計画調査事業 7,214 千円（まちづくり課）

10 知立連続立体交差関連事業 162,570 千円（都市開発課）

※知立駅周辺整備事業（6番から10番まで）の事業費

令和3年度 1,779,567 千円

（前年度比 △558,039 千円）

11 市制 50 周年事業 【臨時】 23,020 千円（企画政策課）

令和 2 年度に実施予定であった市制 50 周年事業の多くが新型コロナウイルス感染症の影響により、延期又は中止となりました。延期となった事業を中心に、令和 3 年度において、実行委員会の企画・立案による特別事業、官学連携事業の実施などを通じて、知立市への愛着や誇りの醸成を図ります。

12 駅前サテライトキャンパス運営事業費補助事業 【臨時】 950 千円（企画政策課）

連携協力等の協定を締結している愛知教育大学、愛知大学、岡崎女子大学及び岡崎女子短期大学の知立駅前におけるサテライトキャンパスを招致することにより、大学生や大学関係者を関係人口とし、知立駅前周辺の賑わい創出を図るとともに、産官学連携により、若年層及び外国人に対する就業支援を行い、移住・定住促進を図ります。

13 企業立地推進事業 27,533 千円（企業立地推進課）

新たな産業ゾーンを形成し、創生することにより、企業の新規立地や市内企業の事業拡大を推進し、雇用の拡大と産業振興を図ります。

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

1 妊産婦・乳幼児健康診査事業

【拡充】 80,160 千円（健康増進課）

3 歳児健康診査時に、屈折異常や眼位異常等の視覚異常について、短時間で幼児にも可能な検査機器を導入し、早期発見、早期治療に努めます。

2 産後ケア事業

【拡充】 9,501 千円（健康増進課）

家族等から十分な家事及び育児などの援助が受けられない産婦並びにその新生児及び乳児に対して、専門職による相談・指導や産後ケア、家事援助の助成などの支援体制を整え、産後も安心して子育てができる環境づくりを推進します。

なお、知立市では、令和 2 年度に福祉子ども部子ども課と保険健康部健康増進課で組織する「にじいろにこにこ事業実務者会議」の中で、困難さに直面している多胎児家庭へのさらなる支援について検討し、令和 3 年度から次のとおり多胎児家庭に対する支援の充実に努めることとしました。

- 多胎児家庭健診サポート事業（健康増進課）
- 多胎児家庭への産後ケア、産後家事援助助成利用期間の延長（健康増進課）
- 多胎児家庭への一時保育料の負担軽減（子ども課）
- 多胎児家庭へのファミリーサポートセンター事業利用料の負担軽減（子ども課）

3 少人数学級事業 58,276 千円（学校教育課）

35 人学級を小学校全学年で実施します。

4 子どもサポート教員配置事業 28,374 千円（学校教育課）

外国人児童生徒へのきめ細かな対応を図る必要のある知立東小学校には 3 名を、その他の各小中学校には 1 名ずつを配置し、不登校やいじめのない学校環境づくりを推進します。

5 学校施設保全事業

【臨時】 234,134 千円（教育庶務課）

児童がのびのびと安心して学校生活を送ることができるように、知立小学校校舎（南棟）長寿命化改良工事などを行い、学校環境を整備します。

互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり

1 多文化子育てサロン事業

【新規】 660 千円（協働推進課）

外国にルーツを持つ就学前の子ども及びその保護者が、日本人親子とともに、日本語や日本の生活文化に触れながら、子育てに必要な情報提供や情報交換をすることができる環境を整え、外国人の保護者が日本で孤独や不安を感じることなく安心して子育てができ、また、外国人の子どもの健やかな成長を促すことを目指します。

2 外国人受入環境整備運営事業

【新規】 7,234 千円（協働推進課）

知立市に住む外国人が市役所を利用する際、タブレット端末を用いたテレビ電話通話を導入することにより、言葉の壁を少しでもなくし、手続きのしやすい環境整備に取り組みます。

芸術や文化を大切にすまちづくり

1 情報通信ネットワーク環境施設整備事業

【臨時】 6,066 千円（生涯学習スポーツ課）

情報通信ネットワーク環境を整備し、公民館利用者の利便性の向上を図ります。また、今後の公民館講座でも活用し、デジタルディバイド（情報格差）の解消等にも取り組みます。

2 文化会館改修事業

【臨時】 26,950 千円（文化課）

施設や大小ホールの舞台機構、音響、照明など、老朽化した設備の更新を行い、安定的な文化活動の推進を図ります。

3 市史編さん事業 31,173 千円（文化課）

地域に伝わる伝統や文化等を記録・保存し、後世へ引き継ぐとともに広く周知することで、市民の地域に対する理解を深め、過去と現在及び未来を結び付け、これからのまちづくりに役立てます。

知立が輝くための仕組みづくり

- 1 **タブレットを用いた議会運営事業** 1,956千円（議事課）
三密を回避しつつ議会運営を行える環境を整備することで、災害等により会議の開催場所への参集が困難な場合においてもオンラインを活用した会議の開催を可能とします。
- 2 **情報セキュリティ強靱化対策事業**
【拡充】 5,938千円（企画政策課）
効率性・利便性を向上させた新たな自治体情報セキュリティ対策を講じ、クラウド化、行政手続のオンライン化、テレワークなどの効率性・利便性の向上を図ります。

☆特別会計・企業会計の主要事業

- 1 **国民健康保険特別会計**
被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な保険給付事業と健康の維持増進のための保健事業を実施します。
保健事業の取り組みについて、第2期知立市国民健康保険データヘルス計画に基づき、糖尿病重症化予防の取り組みや特定健康診査・特定保健指導の実施による医療費等の分析結果により、保健・福祉部門等と連携を図り、福祉・生きがいを含めた総合的な健康づくりの観点に立ち、生活習慣の改善を行います。
- 2 **介護保険特別会計**
介護を社会全体で支え合うことで、介護が必要な人に、本人やその家族の意向に沿った介護サービスが充分受けられる供給体制を推進します。新規事業として、認知症になるのを遅らせることや認知症の進行を緩やかにすることを目的に認知機能簡易チェック事業を実施し、認知機能の低下した人を早期発見するとともに行動変容を促します。
- 3 **水道事業会計**
水道使用者への安定的なサービス提供やサービス水準の向上、また、水道事業のより合理的かつ効率的な経営の促進を図ることを目的とした料金徴収等包括委託業務を導入することで、民間企業の知識や経験等を取り入れ、事務の合理化や効率化を推進することにより、住民生活の安定及び公共の福祉を増進し、経営の健全化を図ります。
- 4 **下水道事業会計**
下水道の整備、維持管理、下水道事業の経営健全化を図り、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に努めます。

